

# かいのき児童クラブ便り



H25. 8. 4

子どもたちのはじける笑顔のために



## 「あぁ～おもしろかった！！」「また、あした！！」

かいのきでは、どの子にも居心地のいい居場所作りと仲間作りを目指して、この夏休みも60名の子ども達と10名の指導員で頑張ります。ボランティアなどご協力をお願いいたします。

### 泥団子

つっちーが『泥団子できる？』と声をかけると周りへ低学年女子が集まり泥団子作りを始めました。今まで作ったことのある子は、みんなのためにサラ粉を作って分けてくれます。つっちーに、「土の上で両足を揃えてダンスするとサラ粉ができるよ。」と教えてもらったり、築山の土を搬入したダンプのタイヤ痕から黒土が出てきて、今までと違う色の団子が出来ていたりします。泥団子を作りながらアドバイスを受けたり、まるで井戸端会議のように、いろんな話をしながら楽しんでいます。



### コマバトル



この夏休みにと新しくコマを購入しました。また、奥ちゃんが初日にコマに加わりバトルが盛り上がり、この夏はコマが遊びの中心になっているように感じます。今まで回せなかった女子が挑戦して回せるようになったり、自分たちで『アルデンテ』『グラスホッパー』と技に名前をつけて楽しんでいます。

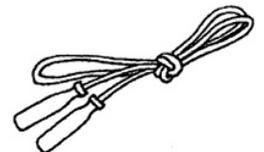
みんなで「3・2・1 ゴーシュート！！」と声を合わせて一斉に投げている姿は、ほんとに楽しそうです。それを周りで見ている子もきっと一緒にしたい！！そう思うから、練習して回せるようになるんでしょうね。

## コマ遊びから

コマの紐の片付けをどういうふうにするか、子どもたちが進んで片付けられるのか、④は考えていました。S字フックでコマの横に掛けるだけにするか・・・。(いや、でも手先を使って欲しいし・・・) どうしようか、お片づけシステムを考えていました。その週末、金曜日の帰りの会后、片付けをしておもちゃなども整理していました。その時もコマバトルが盛り上がっていました。何本かの紐をなわとび結びにして、カゴの中に入れていました。帰るときに『あとは、任せたよ。月曜日朝一番にクラブに来るからコマが片付けられているか、楽しみにしとくね。』と後は任せて帰りました・・・。

・・・月曜日朝、きちんとすべてのコマの紐が縄跳び結びされているでは、ありませんか！！  
そのうえ9:00に朝の会で片付けるときも、夕方片付けてくれたメンバーが『紐ちゃんとかくれよ！』と声をかけ、結んでいない紐は、結んでくれていました。④が考えるより子どもたちは、すごいです。

コマに力が入るとベーゴマに挑戦する子も増えてきました。『この夏休みにできるようになろうやあ！！』と声をかけると一日一生懸命紐を巻く練習をして、回せたときの顔は、素晴らしくいい顔をしています。



## よく遊びよく遊ぶ！

かいのきクラブの子ども達はホントによく遊びます。それも遊び始めた遊びが途中止めせずに、ずっと続くのがすごいです。

野球をしていて「アウト」や「セーフ」でもめたりするものですが、お互いに折り合って、楽しくゲームを進めています。コマをしていて「巻き方が分らないのよな～」って言う声が聞こえると、「オレが教えてやらあ」と言って丁寧に教えてくれるので、コマバトルの仲間入りができるようになりました。次々に入ってくる子も拒むことは、ほとんどありません。

ミサンガでは、指導員からの編み方をすぐにマスターした子が「私が編み方を教えてあげるからね！」と言って、新しく「編みたい！」と言って入ってくる他の子ども達に、「私が作るのが遅れる～！でも、教えてあげる！」と言って、文句も言わずに教えてくれていました。隣では“ピンクグリーンブルー”という名前のマッサージ屋さんが、優待券を作って、ミサンガで疲れた体を癒してくれていました。このマッサージ屋さんの得意は足もみです。行くと“おだんご”も貰えました。次の日、マッサージ屋さんから貰った優待券を持って来ていたAちゃん。「Bちゃんと一緒にまたマッサージ屋さんに行く！Bちゃん早く来ないかな～」とそわそわしていました。でもこの日、Bちゃんは来たのですが、肝心のマッサージ屋さんがお休みで、優待券を持っていたAちゃんはがっかり。ミサンガ編みもあまり進みませんでした。

地域での活動等で来られない時や学校が違うので関係作りも難しい時もありますが、“ここに来ればかいのきクラブの仲間だ！”という連帯感を感じます。

By 奥ちゃん

子どもたち同士で誘い合い始まる野球。1年生から6年生まで、時には女の子も入り、14～5人の大きな集団で遊んでいます。地域ではほとんど見られなくなった異年齢集団。毎日継続して長時間、大きな集団で遊ぶには何か秘訣があるはず・・・と見ていると、まだ十分ルールを飲み込んでいない1年生に対しては、

5年生：「誰かが打ったらあの太い木まで走るんよ」

6年生：「オレが来いって言ったら来るんで。わかったか？」「オレが来いって言ったらよ。他の人じゃだめで」

3年生：「池のコイが来いって言ってもだめで」とユーモラスなコメント。

女の子たちには

6年生：「もっと後ろ、後ろで守って。結構打ってくるから」そして、ピッチャーには「やめろ、普通に投げろ！」

3年生：「まあ、まあ、やらせてやれば～」

1年生：「のどがかわいた～」と言えば、

6年生：「オッケー。のどがかわいたら、お茶飲んできていいよ」

その1年生がアウトになっても「ドンマイ」と声をかけている6年生。6年生がかっ飛ばせば、「オッケー、オッケー百獣の王、ジャイアン！」と3年生男子。

たての関係であっても自由な雰囲気の中で、教えたり教えられたり、認めたり認められたり・・・このような遊びの中で育った子どもたちは、また今度は下の子どもたちに対して同じように関わっていくことができるのではないのでしょうか。

長時間自分達で遊びることができるその秘訣を見つけたような気がしました。(つつちー)

## 行事の連絡

○22日(木) 13時半～14時半 桃太郎少年合唱団(約20名)が歌声を披露しに来ます。

○23日(金) 10時～11時 倉敷市の児童クラブ運営委員長約15名が行政の方と保育の様子を視察に来られます。ご理解ください。

○27日(火) 10時～12時 工学教室(詳細連絡済)

○30日(金)・31日(土) 野外活動&宿泊保育 ※詳細は別途お盆休み前に配布します。

★31日(土)9時半～ 保育報告会 写真とともに保育の様子をお伝えします。

保護者・指導員同士の交流の場にしましょう！是非参加ください。